

A：岩手県コース
淵 良三（1964・経済）

当地（千葉県柏市）でも震度5強の地震と放射能のホットスポットとなっているが、大津波と原発事故の被害が大きい東北地方には何かずっと応援することがないかと気に掛けていた処、今般校友会主催の応援ツアーで現地訪問の機会を得た。

被災地見学後の勉強会での陸前高田市の鈴木さんの活躍報告には感銘を受けた。

地区996人の食料調達・飲料水の確保・トイレの整備そして平準化後のお祭りを行うことによる地域の活性化など、日本では自然災害が必然であるだけに発生直後の対応だけでなく、事前準備の必要を一層感じた次第である。

岩手県校友会の皆さんからは現地を訪問し、金を使ってくれることそして宿泊してくれることが応援の第一歩だとも言っておられた。

元気に活動されている校友会の皆さんには逆に元気の素を頂いたところである。今回のツアーでは子供や孫たちへの土産を買うことしか出来なかったが、応援の一端であろうと思う。

応援ツアーは全国の大学でもやっていない立派な素晴らしい企画であり、立命館の卒業生であったからこそ参加できたことを誇りに思う次第である。

来年以降も東北地方の為にツアーを実行されんことを望みます。